



夏期の開園は10月21日までです。
冬の動物園は11月3日からはじまります

ASAHIYAMA Zoo

発行所
動物資料展示館
旭川市
旭山動物園
☎ 36-1104

オランウータンの赤ちゃん 愛称決定!

7月30日に生まれたオランウータンの赤ちゃん(♂)の愛称が決定しました。9月中におらんうーたん館で愛称を募り、3000件をこえる名前が寄せられました。その中から選ばれた愛称は「モリト(森人)」です。「森」や「自然」の大切さを多くの人に伝えられるような存在に、との願い



モリト(森人)

「森」や「自然」の大切さを多くの人に伝えてくれるような存在になってほしいという願いをもってつけられました

を込めて名づけてくれたのは札幌市在住の女性の方です。オランウータンは東南アジアの森にすみ、現地の言葉では「森の人」とも言われています。「モリト(森人)」は、オランウータンの故郷の森のイメージにピッタリな名前でした。

これからの未来、自然とどう向き合っていく環境を守っていけばよいのか、動物園が目指している動物たちの故郷との架け橋になれるような役割を担っていくことではないでしょうか。

秋から冬へ

10月に入り、旭山動物園の夏期開園も残すところあとわずかになりました。日ごとに寒さが増し、紅葉が一段と鮮やかになってきました。ホッキョクグマやペンギンなど、冬が得意な季節の動物たちが楽しみな時期がはじまります。冬の動物園(11月3日より)では、寒さが苦手なチンパンジーやオランウータンは、室内のみの展示になり、カピバラや爬虫類・水鳥・小動物の一部などは、来年度の春まで暖かい部屋で過ごします。その前に、もう一度動物たちに会いに来てください。

毎年、秋から冬にかけておこなわれている「ワシ・タカを学ぶ会(不定期)」が始まりました。間近で猛禽類が飛びまわる姿を観察し、生態について学べます。冬には真っ白な美しい毛色をみせてくれるホッキョクグマは、灰茶色の夏毛から白い冬毛へ生え替わっていく最中です。この時期は、秋ならではの動物たちの姿が見られます。

冬には真っ白な毛色のホッキョクグマ、手のこえがわかる最中です



秋・冬にワシ・タカを学ぶ会(不定期)は、いよいよ始まりました!



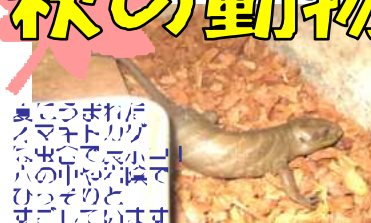
みどころ 秋の動物園

もぐもぐタイム をケータイでチェック!!



QRコードを読み取り、旭山動物園のアドレスにアクセスしてください。携帯電話で今日のもぐもぐタイムスケジュールやイベント情報が見られます。更新は毎朝9時半頃、来園前に1度チェックしてみてください。

毎日おこなうもぐもぐタイムのほかに、不定期でサル舎やシロテテナガザル・サイ・ダチョウ・エゾシカなど様々なもぐもぐタイムを行っています。その他、ワシ・タカを学ぶ会やパネル展などのイベント情報もチェックできます。



春生えのライオンの子は、大きく育っています。近々力さを感じます



キングペンギンのヒナは、体長60cmほどまで大きく育っています。今はお母さんになるため、親鳥たちとお見合い中です

また、今年生まれのペンギンのヒナや、チンパンジー・オランウータンなど、子どもたちの成長ぶりも見どころです。は虫舎ではこの夏、オマキトカゲの赤ちゃんが生まれています。夏期の開園は10月21日までです。あと何回秋の動物園に会いに来ようか?皆さんのお越しを心待ちにしています。

今年生まれの赤ちゃんすくすく

開園40周年記念 旭山動物園 思い出の作文 募集中!

旭山動物園では、動物園での思い出作文を募集しています。遠足で動物園に来た時のことや、初めてウサギにさわった時のこと。サマースクールで飼育係体験をしたこと。冬の動物園でペンギンを間近に見た時の驚き、今は亡き動物たちとの思い出など、旭山動物園での心に残った思い出を教えてください。みなさんの思い出を文集中につづります。小・中学生のみなさんはもちろん、みなさんのお父さんやお母さん、おじいちゃんおばあちゃんも御応募ください。

この企画は、今年旭山動物園が40周年を迎えたことを記念してはじまりました。40年間の歩みを振り返り、旭山動物園がこれからも市民の皆さんに愛され続けることを願って、特別な1冊を作れればと思います。

応募対象 : 旭川市民(もしくは過去に旭川に在住した事のある方)
枚数 : 原稿用紙1枚程度にまとめて応募してください。
寄せられた作文は年代ごとにつづります。
送付の際、いつ頃にあったお話かわせて記載してください
送付先 : 当園まで郵送、もしくは各売札所へお渡しください。
郵送先 : 〒078-8205 旭山動物園「思い出の作文」係 あて